



笠井 創(耳鼻咽喉科)

67歳。笠井耳鼻咽喉科クリニック院長。日本耳鼻咽喉科学会専門医。1977年、千葉大学医学部卒業後、国立がんセンター病院、横須賀共済病院等を経て現職。

上手に活用していきたいでしょう。合う人には副作用も出にくいので、西洋薬を補完するものとして、

30年近く前の開業以来、多くの漢方薬を試してきました。漢方は様々な薬効成分が混じった複雑なつくりになっていて、その人に合うかどうかは使ってみなければ分からない。試行錯誤が必要でした。結果、風邪の初期で鼻詰まりの症状が強ければ、**葛根湯加川芎辛夷**を朝昼晩、1日3回飲むようにしています。苦くないので飲

みやすい漢方です。大抵は1度飲むだけで症状が和らぎ始めますが、1〜2日で効果が感じられなければ、抗生物質などに切り替えます。ただ、抗生物質を使い続けると、薬が効かない耐性菌が出る可能性があります。症状が長引く場合は約1週間後から再び、症状に応じて漢方薬を使っていく。鼻水が喉に回ってくる時は**辛夷清肺湯**、膿のような鼻水が続く時は**荊芥連翹湯**、痰が喉に絡む時は**麦門冬湯**を症状がなくなるまで飲んでいきます。

鼻づまりには葛根湯加川芎辛夷

葛根湯

●カコントウ
風邪の初期に。長引けば抗生剤などに切り替える

葛根湯加川芎辛夷

●カコントウカセンキョウシンイ
風邪を引いて、鼻詰まりの症状が強い時に

辛夷清肺湯

●シンイセイハイトウ
長引く風邪で鼻水が喉に回ってきた時に

荊芥連翹湯

●ケイガイレンギョウトウ
長引く風邪で膿のような鼻水が続く時に

麦門冬湯

●バクモンドウトウ
長引く風邪で痰が喉に絡むような時に飲む

芍薬甘草湯

●シャクヤクカンゾウトウ
腰の椎間板ヘルニアで消炎鎮痛剤と併用した

